

CWA NEWS



千葉県とウィスコンシン州は 姉妹県州提携20周年を迎えます

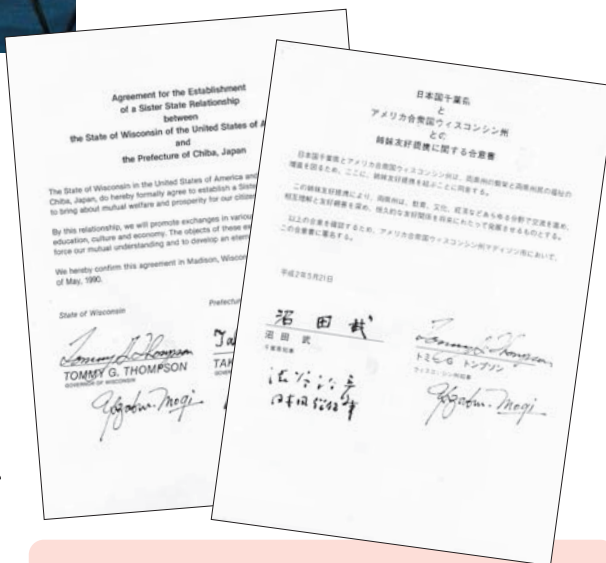


沼田武昭知事(当時)と、トミー・G. トンプソン州知事(当時)による調印式(1990年5月21日・ウィスコンシン州政府1階円形広間にて)



上：最近の姉妹交流の様子
(2007年千葉県友好使節団による公演)

下：調印書の写し(英文・和文)



今年、千葉県とウィスコンシン州の姉妹県州提携20周年にあたります。

1990年の提携から2004年に千葉ウィスコンシン協会が設立されるまで、文化に関する交流、「女性のつばさ」事業、教職員等交流事業によって、千葉県から延べ724名の方がウィスコンシン州を訪問し、またウィスコンシン州からは延べ480名の方が千葉県を訪問しました。当協会が交流事業を引き継いだ後も、バイオマスや大学間交流など交流分野をさらに広げ、より一層活発に交流を深めてまいりました。(現在までの相互訪問者数は延べ1,374名)

両県州の間で姉妹交流が20年もの長きにわたって活発に続けられてきたのは、ウィスコンシン州と千葉県、それぞれ交流に参加された皆様の熱意とご尽力のたまものと、あらためて深く敬意を表します。

ウィスコンシン州は、人々の誠実で温かな人柄や水と緑に恵まれた美しい自然、バイオテクノロジーなどの研究成果など、数多くの魅力を持っています。千葉ウィスコンシン協会では、ウィスコンシン州との姉妹交流を通じて、一人でも多くの方々に素晴らしい体験をしていただけるよう、今後も県と協力して交流事業を進めてまいります。

「姉妹交流20周年記念交流会」のご案内

姉妹県州提携20周年を記念して、総会終了後に「姉妹交流20周年記念交流会」を県との共催により開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。(詳細はおってご案内いたします。)

日時：平成22年5月29日(土)
12:00～14:00

会場：ホテル ポートプラザ ちば
「ロイヤル I」

※同日11:00から、同ホテルの「パール」にて総会を開催いたします。

ウィスコンシン州 現地だより

Greeting from Wisconsin

Barbara Rothwell

バーバラ・ロスウェル
President, Wisconsin-Chiba, Inc.
ウィスコンシン千葉委員会委員長



This is an exciting year to be taking over as president of Wisconsin-Chiba, Inc. It's hard to believe that it's been 20 years since the signing of our Sister State agreement.

In March of 1990, 20 years ago, I was working at the Wisconsin Bureau of International Development, and trying to organize all the activities that needed to be completed for Governors Tommy G. Thompson and Takeshi Numata to sign the Sister State agreement between the State of Wisconsin and the Prefecture of Chiba. Somehow it all came together on May 21st, 1990, and I even managed to get the sake, that had been held up in customs, to arrive in time for the party after the signing.

A lot has changed in 20 years. I moved on to other state positions, and retired from state service. Our organizations have grown, exchanges have blossomed, and friendships have bloomed. It is truly wonderful to look back at all the exchanges that have come to Wisconsin, and those that have gone to Chiba.

I remember the first group of Women of Wings that visited Wisconsin, and I have been delighted over the years to be able to open my home to the many groups that followed. It was also a special treat to have been part of the first Wisconsin Women of Wings groups to go to Chiba, and stay with someone who had stayed at my home during their visit to Wisconsin.

We have started our planning in Wisconsin to commemorate the 20th anniversary of the Sister State signing. We are hoping to reunite many of the groups that have visited Chiba over the past 20 years, during some of our celebration festivities here in Wisconsin. It is also our hope that during our 20th anniversary celebrations, we can reunite old friends and make new friends with visiting groups from Chiba.

Best wishes for our 20th anniversary year.

ウィスコンシン千葉委員会の新委員長として、わくわくするような年を迎えております。なぜなら、ほとんど信じられないことですが、私どもの姉妹州県協定に調印してからもう20年が経ちました。

20年前の1990年3月、私はウィスコンシン州の国際開発局に勤務しており、トミー・G. トンプソン知事と沼田武知事の間で交わされるウィスコンシン州と千葉県との姉妹州県協定に必要な全ての活動をオーガナイズする業務に追われていました。そして、1990年5月21日になんとか全てが完結し、調印後のパーティでは、お祝いの日本酒を習慣に従って乾杯し、私自身もあやかることが出来ました。

そして20年間にたくさんの変化がありました。私は州政府の中で別の部署に異動となり、定年退職となりました。われわれ2つの交流組織も成長し、交流事業が盛んとなり、友情の花が咲きました。ウィスコンシン州に来訪した交流と、そして千葉県を訪問した交流の全てを振り返ることは本当に素晴らしいことです。

私は千葉県からの最初の女性のつばさグループがウィスコンシン州を訪問したのを覚えております。私はその後、数年にわたり自宅を沢山のグループの皆さんに提供できたことを大変嬉しく思います。私自身もウィスコンシン州の最初の女性のつばさグループの一員として千葉県を訪問し、私の家にホームステイして頂いた方のお宅に泊めて頂きました。

私達は現在ウィスコンシン州側で姉妹州県協定の20周年を祝う計画を検討しています。私達は過去20年間に千葉県を訪ねた沢山のグループが一同に会するような機会をウィスコンシン州側の種々の周年行事の中で持ちたいと思っています。そして、その20周年行事のなかで、千葉県からの古い友達と再会したり、新しい友達と知り合うことが出来れば良いなと願っています。

20周年の年に心からの祝辞をお送りします。

(連載)

ウィスコンシンと私

Missing Wisconsin 懐かしのウィスコンシン州

Mr. Fred Lauer
(フレッド・ラウアーさん)



It's been seven months since I've arrived in Japan for hopefully a long stay, as I teach English and study an ever fascinating language. Although I'm challenged daily to live my life here as best I can, and although the experiences I have here are always changing, I still miss home and my beautiful state of Wisconsin.

I recently went home for a short six day vacation in December. I was there to celebrate my sister's graduation from nursing school at the University of Wisconsin, Eau Claire. It was blisteringly cold, as it is now, but the brisk air and smell of farms filled the air bringing back so many memories of home. Snow covered every street, every sidewalk and at times was nearly 3 feet high from the heavy fall this year. Even with the snow, the rolling hills, rushing rivers and vast lakes were all there to greet me upon my return.

It's always amazing to return after even a relatively short stay away from home. I forgot all the things that I missed; the food, the beer, the people and their friendly Midwestern personalities. Walking along the streets of Eau Claire, my hometown in Wisconsin, I marveled at the differences from Japan. What was seemingly so normal to me before had become much more distinctly western. Buildings were built from brick, there was no rail traffic, yet trucks and SUVs filled the roads at every stoplight. I was back in the land of bigger drinks, larger food portions and louder voices.

Now it's the time of St. Patrick's day in Wisconsin. The color green is likely permeating everywhere. There will be many upcoming musical events celebrating the coming of Spring. And spring in Wisconsin is a beautiful thing. Like St. Patrick's day, green is everywhere, and flowers start to bloom in the fields. It's like a painting in motion.

But before the snow melts and the lakes unfreeze there will be a World Ice Fishing Championship held in Rhinelander, Wisconsin. Basketball season will start and many will stay at home to support their favorite teams. Wisconsin's people will begin, like the snows of Winter, to thaw from their slower days and begin to celebrate the warmer weather to come.

日本に来てからすでに7ヵ月が経ちました。出来れば長期にわたって滞在したいと望んでいます。僕は英語を教えながら、限りなく魅惑的な言語（日本語）を勉強しています。千葉での生活は毎日がチャレンジングで精一杯に生きています。そして此处での経験は常に変化しています。でも、僕は今も自分の家や自分の美しい故郷ウィスコンシン州を懐かしく想い浮かべています。

昨年の12月、わずか6日間の短い休暇でしたが帰郷しました。目的は僕の妹がウィスコンシン大学オークレア校の看護学部を卒業したのを祝いするためでした。今もそうですが、気候はしばれるような寒さで、身が引き締まるような空気と農地の臭いが故郷の思い出を呼び起こしました。道路や歩道は雪に覆われていました。特に今年は大量の降雪で場所によっては3フィートもありました。そんな雪も、延々と続く丘や、滔滔と流れる川や広々とした湖も昔のままで、僕の帰りを歓迎してくれました。

たとえ僅かな期間でも故郷を離れて、帰郷する度に感じるのですが、自分が気づかなかったことで、懐かしく思うことが沢山あります。それは、食べ物であったり、ビールであったり、人々であったり、人なつっこい中西部独特のパーソナリティなのです。ウィスコンシンの我が故郷・オークレアの道を歩きながら、僕は日本との違いをしみじみと感じました。以前は普通に思っていたことが、もの凄く西洋的に感じられました。建物はレンガで作られており、鉄道はなく、その代わり、どこでも道路にはトラックやSUV車が溢れていました。そう、僕は再び、がぶ飲みと大食と大声の国に戻っていました。

今はウィスコンシンでは聖パトリック祭の時期です。緑色の飾り物があちこちに溢れています。まもなく、春の訪れを祝う沢山の音楽イベントが開催されます。そしてウィスコンシンの春はとても美しいです。聖パトリック祭の日と同様に、緑があちこちに溢れ、野原には花が咲き誇ります。それはまるで動く絵画のようです。

しかし、雪が解け、湖の氷が解ける前に、ウィスコンシン州のラインランダーでは世界アイスフィッシング選手権が開催されます。そして、バスケットボールのシーズンがスタートし、沢山の人が自宅でテレビを見ながら最良のチームを応援します。ウィスコンシンの人々は、冬の雪のように、雪解けとともに、ゆっくりとした日々の生活からやがて来る暖かい気候を祝い始めます。

会員向けアンケートの実施結果について



今後の活動の参考にするため、個人及び団体会員にアンケートを行ったところ、個人会員38名および団体会員2団体から回答をいただきました。個人会員からの主な回答内容を紹介いたします。

《入会の理由》

「ウィスコンシン州（以下「ウ州」と表記）に関心があったから」が圧倒的で過半数を占めました。在住または訪問経験のある方も51%いました。訪問回数の最多は8回でした。

《会員となって良かったと思うこと》

「『CWA NEWS』などにより、ウ州に関する知識を得られたとき」、「ウ州の人達と交流する機会があったとき」、「姉妹県州交流に参与（貢献）していると感じるとき」を合わせるとほぼ7割でした。

《今後参加してみたい活動》

最も希望が多かったのは、「ウ州の人達と話ができる交流イベント」（23%）で、次いで「友好使節団の来県時の各種パーティー」（22%）、「ウ州に関する知識が得られる勉強会」（14%）と続きました。「ウ州へのツアー」を希望する方もいました。

《会報「CWA NEWS」について》

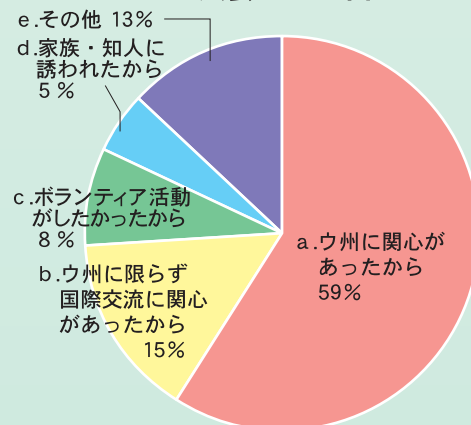
半数（50%）が、「大変面白い」、「まあ面白い」と答えています。また、53%の方がウ州についての理解が「大変深まった」、「まあ深まった」と答えています。自由記述では、「ウ州についての情報をもっと詳しく」、「頁数を増やす」などの助言をいただきました。

《協会ホームページについて》

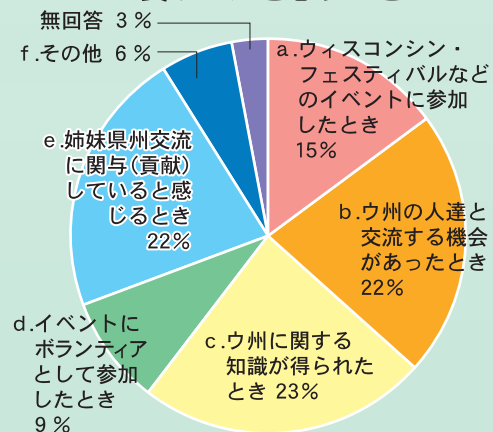
過半数（60%）が、「見たことがある」と答えた反面、「見たことがない」方も37%いました。自由記述では、「英語版を作る」、「ウ州内の市町村と姉妹提携している県内市町村の交流活動も紹介する」などの助言をいただきました。

姉妹県州締結20周年事業や、CWA、姉妹交流のあり方についても、本紙面では掲載しきれないほど多数の意見が寄せられました。ウ州への憧れ、もっとウ州を知りたいという知識欲、ウ州の人と交流したい願望などが感じられた結果でした。皆様の熱い思いを今後の事業展開に生かして参りたいと思います。回答いただいた方へ厚くお礼申し上げます。

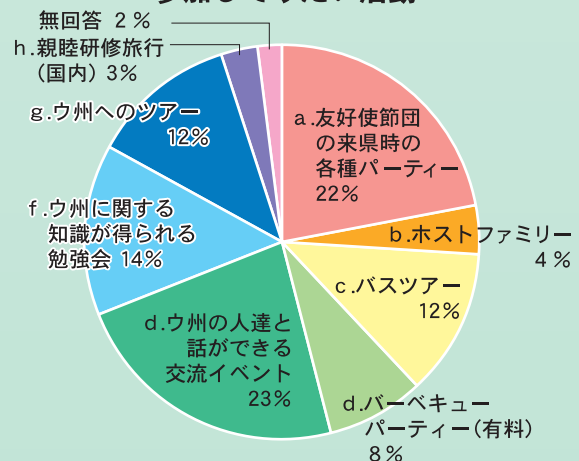
入会した理由



良かったと思うこと



参加してみたい活動



【編集後記】

初めて実施した会員アンケートでは、広報に関する貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。次号から広報部会も新体制になります。ウィスコンシン州の魅力がより一層伝わる広報が展開できるよう、部会員一同、引き続き頑張りますので、よろしくお願いいたします。（Nao）

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集人：榊田直美

<http://www.chiba-wisconsin.jp/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

（財）ちば国際コンベンションビュロー内

*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2398（千葉県国際室）